２　有害大気汚染物質等の概況

令和４年度は、毎月1回、八代測定局において21物質、広畑浜手緑地において3物質の有害大気汚染物質等調査を実施した。

また、年4回（春、夏、秋、冬）、2地点（八代測定局、飾磨測定局）においてダイオキシン類の調査を実施した。

さらに、年4回（春、夏、秋、冬）、船場自排局において微小粒子状物質の成分分析（質量濃度、イオン成分8項目、無機元素成分30項目、炭素成分8項目）を実施した。

令和４年度の調査結果の概要は、以下のとおりである。

(1) 有害大気汚染物質等（表2-1、2-2）

八代測定局において調査を実施した21物質のうち、環境基準が設定されているテトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、ジクロロメタンの4物質については、いずれも環境基準に適合している。

また、広畑浜手緑地において調査を実施した3物質のうち、環境基準が設定されているベンゼン、ジクロロメタンの2物質については、いずれも環境基準に適合している。

(2) ダイオキシン類（表2-3）

大気の環境基準は0.6pg-TEQ/m^{3}であり、全ての地点で環境基準に適合している。

(3) 微小粒子状物質成分分析（表2-4）

表２－１　八代測定局における有害大気汚染物質等の測定結果（令和４年度）　(単位：μg/m³)

物　質　名	年 平 均 値	環境基準
テトラクロロエチレン	0.044	200
トリクロロエチレン	0.15	130
ベンゼン	0.68	3
ジクロロメタン	1.7	150
アクリロニトリル	0.022	※　2
アセトアルデヒド	1.4	※120
塩化ビニルモノマー	0.028	※ 10
塩化メチル	1.6	※ 94
クロロホルム	0.19	※ 18
トルエン	3.8	未設定
酸化エチレン	0.074	未設定
1,2-ジクロロエタン	0.14	※　1.6
水銀及びその化合物	0.0017	※　0.04
ニッケル及びその化合物	0.0049	※　0.025
ヒ素及びその化合物	0.0014	※　0.006
1,3-ブタジエン	0.037	※　2.5
ベリリウム及びその化合物	0.000015	未設定
ベンゾ［a］ピレン	0.00014	未設定
ホルムアルデヒド	2.2	未設定
マンガン及びその化合物	0.038	※　0.14
クロム及びその化合物	0.022	未設定

※　環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）

表２－２　広畑浜手緑地における有害大気汚染物質の測定結果（令和４年度）　(単位：μg/m³)

物　質　名	年 平 均 値	環境基準
ベンゼン	0.95	3
ジクロロメタン	0.79	150
1,2-ジクロロエタン	0.13	※ 1.6

※　環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）

表２－３　大気中のダイオキシン類の測定結果（令和４年度）　(単位：pg-TEQ/m³)

測　定　場　所	年 平 均 値	環境基準
八 代 測 定 局	0.018	0.6
飾 磨 測 定 局	0.069	

表２－４　船場自排局における微小粒子状物質成分分析の調査結果（令和４年度）

測　定　項　目		年平均値
質量濃度（μg/m³）		9.9
イオン成分（μg/m³） 8項目	塩化物イオン	0.0664
	硝酸イオン	0.381
	硫酸イオン	2.23
	ナトリウムイオン	0.109
	アンモニウムイオン	0.83
	カリウムイオン	0.072
	マグネシウムイオン	0.0110
	カルシウムイオン	0.026
炭素成分（μgC/m³） 8項目	OC1	0.040
	OC2	1.05
	OC3	0.87
	OC4	0.466
	OCpyro	0.366
	EC1	0.657
	EC2	0.379
	EC3	0.0232
	OC（有機炭素）	2.80
	EC（元素状炭素）	0.693
無機元素成分（ng/m³） 30項目	ナトリウム	98
	アルミニウム	45.6
	ケイ素	119
	カリウム	74.0
	カルシウム	41.2
	スカンジウム	0.015
	チタン	4.52
	バナジウム	0.644
	クロム	1.90
	マンガン	7.1
	鉄	142
	コバルト	0.057
	ニッケル	1.26
	銅	3.43
	亜鉛	40.3
	ヒ素	1.00
	セレン	0.69
	ルビジウム	0.248
	モリブデン	1.70
	アンチモン	0.61
	セシウム	0.065
	バリウム	2.08
	ランタン	0.052
	セリウム	0.069
	サマリウム	0.005
	ハフニウム	0.039
	タングステン	0.29
	タンタル	0.002
	トリウム	0.007
	鉛	5.43